

八中2年人権だより

徳島市 八万中学校
2年生 第6号
2023年 7月10日
編集・文 吉成正士

(5号からのつづき)

明日があるから夢がある

■戦争はあらためて二度としてはいけないと思いました。酒井さんが言っていたように、今があるから明日がある。明日があるから夢があると思います。今は昔のように争いは少ない方だけど、まだ戦争をしているところはあります。明日があるから夢があるという言葉にとっても共感することができました。私にも夢があります。けど、もし今戦争が始まったら、その夢はなくなってしまいます。私は昔、今の日常が普通だと思っていました。けど、今までの人権学習で、それが普通ではないと思いました。いつ戦争が起こってもおかしくない、そうすると今までの明日というものが送れなくなる、今の平和がいつまでも続くということとはできない、だから今の貴重な時間を使い、いろんな人権について考えていきたいと思いました。戦争が完全になくなってほしいです。(4組OM)

いつの時代も、世界中のどこの人にも、皆さんが思うように夢があったはずです。努力して叶えられなかったら、悔いも残らないかもしれません。けどそれ以前に、努力することすら断たれてしまえばどうでしょう。叶う夢さえ叶えようがありません。同じ人間として、生きた時代が違うから、生まれた場所が違うから、それだけで納得できるものでしょうか。みんなが等しく、その夢が叶えられる可能性が持てるよう、私たちは私たちの夢を全力で、そして謙虚に追いたいと思います。

まずは皆さん自身、互いの夢について語り合う時間を持ってみませんか。

私の誕生日は8月6日

■私はオキナワの平和学習をして、戦争は残酷だし、一番の人権侵害だと思いました。それに戦争の話を知っただけでも、胸がキュッと絞めつけられるような思いでした。実際に戦争を体験した人は、本当につらくて苦しい思いをしていたんだなと思います。

私には戦争に関係していることがあります。それは、私の誕生日が8月6日の広島に原爆が投下された日です。そんな関係があるので、私は人一倍戦争をなくすために協力したいと思っています。でも、そんなに簡単に戦争はなくなりません。戦争をなくすために必要なのは思いやる心だと思います。もし私の身近で戦争が起こったら、絶対に行きたくありません。戦争に行ってしまうと、もう二度と家族と一緒にいられなくなるかもしれないからです。そうならないためにも、思いやりの言葉をもって、いろんな人に接していきたいです。(4組KR)

誕生日なら、ヒロシマの日、忘れようにも忘れることはなさそうですね。そんな日に産んでくれて「ありがとう」です。一度、誕生日にヒロシマに行ってみてはどうでしょう。そうすればあの日に、人種、宗教、性別を越えてどれだけの人が思いを寄せているか、実

感できると思います。それだけすごい日なのです。

でも同時に、12月8日もしっかり覚えておくことです。日本が真珠湾攻撃を行った日です。あの日を境に、太平洋戦争に突入していきました。人はされたことはよく覚えていても、したことは忘れやすいものです。でも本当に覚えておかなければならないのは、したことです。ヒロシマを通じて、どこでどんな戦争があったのか、その全容を学ぶことです。

なかったことにすると、繰り返す

■私は今回の平和学習を通して、戦争はどうしてしてはいけないのかを知ることができました。戦争を体験した人がいて、戦争がどれだけしてはいけないことを私たち知らない人に教えているから、戦争の恐ろしさ、してはいけないことを知ることができています。戦争を体験していないから関係ないのではなく、知らないからこそ戦争について学び、教え合うんだなと知りました。戦争がなかったことにしてしまうと、また繰り返してしまう。戦争は一人一人の意見、考え方があるから争う。だから戦争をなくすためには、共感することが大切だと学びました。自分の身の周りの小さな戦争、これをまずなくさないと始まらないです。今、自分にできることは何かを考えて実行していこうと思いました。私は学んだことを生かしていこうと思いました。(2組AK)

戦争をなくすために、ある人類学者は、「共感力が必要だ」と言います。そもそも、なかったことにしてしまえば、共感するところにも至りません。そんな共感する力は、身近な小さなところから実践できるはずです。逆に言えば、身近なところを放っておいて、大きな戦争だけなくすなんて、できるはずがありません。



恥ずかしがらず、ためらわず、乗り越える

■今回の学習まで、戦争と自分の生活に関係があるとは考えつかなかった。戦争と言ってしまうと国と国が戦う、命の大切さを考えずに行う大きなものだからだ。でも考えると、友達の意見を受け入れられるようにすると、軽はずみな笑いはなくなり、噂を広めたり、SNSの悪い書き込み

だったりはなくなっていくことが分かった。そして、これらがなくなっていくということは、命の大切さを考えるということだから、戦争をなくせるということにつながると分かった。身近な問題として捉えやすくなった。

また、想像力を働かせれば、発言、行動が悪いか想像でき、共感する力があれば相手と分かり合える。身近な行いが戦争をなくすのだとよくわかった。友達、家族、先生、身の周りの人たちとのあいさつやコミュニケーションを大切に話して話すことで、得られる力を育みたい。

今回はもう一つ、「自分たちにも戦争を語り継いでいく権利がある」ということを学べた。今までは、戦争を知って、今の生活を変えようとしても、知った話を伝えていく意識はあまりなかった。差別を止める、意見を伝えることを恥づかしがらず、ためらわず、線を乗り越えて行きたい。(4組SH)

人と人を隔てる横線について話をしました。その線があるから、分かり合えないし、争いが起きる。線を消したり、引っぺがすことができればいいのですが、もしできても、また線は新たに引かれるかもしれない。ではどうすればいいか。

「縦線を引けばいい」と言いました。人と人を隔てる横線。それを乗り越える縦線をつなぐことができれば、もしかすると分かり合えることも出てくるかもしれない。争いを止めることができるかもしれない。その縦線を2本引けば、横線1本よりも強く、大きな存在になる。しかも縦線を2本引くことで、それは架け橋となり得る。

では縦線の具体的な例とは？それが、あいさつだということです。「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」そんな些細な日常の言葉がけが、縦線になるのだと思います。どうですか？今日は縦線、引けましたか？



「知った者は、伝えていく義務が生じる」

日ごろ皆さんが学習している内容は、人類が得た英知の伝承です。同じように戦争についても、知った以上語り継いでいく権利があり、義務が生じます。他のことについても同じです。知った者が知らない者に語り継いでいくことは、人類が歴史を刻んでいくうえで、ごく当たり前のことなのです。ですから、恥づかしがらず、ためらわず、「自分にはそんな資格がない」と思わないことです。「自分は未熟で不十分」と自覚したうえで、言葉をつないでいくのです。

戦争は一番の人権侵害

■今回の人権学習では、私とは違う意見、むしろ正反対の意見も聞くことができましたと思います。私は、けんかや戦争を完全になくすことは難しい、だから小さな争いが大きくなるのをどれだけ抑えられるか、という考えでしたが、戦争をなくすにはまず、けんかなど小さいことからなくしていかなければ、戦争という大きな争いをなくせるわけがないという意見を聞いて、確かにと納得しました。「人権学習は、正解というものがない問いに、みんなで向き合っている」とは、こういうことなんだと実感しました。

4番の問いの、もし戦争が起こったら戦場に行くか行かないかの話をしていたとき、「戦争に行かないで済む方法は、自分で自分を殺す。そして、実際に戦争が起こったときは、自分もこのような手段をとると思う。」と言っていた人がいました。その言葉を聞いたとき、私は平和学習のときに学んだ集団自決のことを思い出しました。戦争で死にたくない、戦争に行きたくない、という思いで自ら自分の命を奪う。自分で死ぬのを選んでしまうほど、戦争によって心が追い込まれていたのだと思いました。あらためて戦争は、一番の人権侵害であり、あってはならないものだと思います。修学旅行で沖縄に行くときは、楽しむだけでなく、命の尊さや戦争の恐ろしさについてもっと学びたいです。(6組KK)

集団自決。おじいさんがおばあさんを殺し、お母さんが我が子を殺す。そんなことできるのでしょうか？けどそうさせてしまう。みんなが死んでいたら、この事実は消え去っていたはずです。どうしてこの事実は残ったのか。そのなかで生き延びた人がいたからです。生き延びた人がいたから、はっきりと伝えられているのです。人を狂わせてしまう。戦争とはそういうものなのだと思います。

ドラマ「さとうきび畑の唄」を紹介してもらいました。地上戦となった沖縄が舞台です。主人公の写真屋さん幸一(明石家さんま)は否応なく召集されていきます。幸一やその子どもたちがどう生きたのか。県職員であった長男勇の生き方。そのお嫁さんとなった小学校教師の紀子(仲間由紀恵)の生き方。志願兵となった次男昇の生き方。小学生の次女春子の生き方。みんなが戦場にあるなか、どう生きたのか、どう死んでいったのか、今一度「4」の問いについて考えながら見てほしいと思います。そして、自分はどうするのか、あらためて考えてください。

授業の最後に、夏休みの宿題「新聞切り抜きコンクール」について、再度お知らせしました。

【中学生部門】として、次の選択課題3つ、

「差別と人権」「戦争と平和」「SDG s」

または、【特別部門】として、「防災」

以上4つの中から一つを選び、自分なりの「作品テーマ」を考えて制作してください。

以前連絡してからすでに1カ月がたちましたが、新聞は収集できていますか？

締め切りは9月1日です。台紙は

終業式の週に配布するので、大事になくさないでください。ステキな作品を待っています。(7号につづく)

